



神内っ子

笠岡市立神内小学校 学校だより
令和4年9月21日 No14

【笠岡東中学校区小中一貫教育 教育目標】

- 郷土を愛し、夢の実現に向けて高め合い、たくましく生きる児童・生徒の育成
- ・進んで学ぶ子
- ・思いやりのある子
- ・元気な子
- ・ふるさと大好き神内っ子



ミライシード ～ドリルパークで定着力 UP～



2年生から6年生までの児童は、Chromebook の持ち帰りをしています。いつ体調が優れず欠席しても、急に学級閉鎖になっても、リモートで学習を続けることができる対応をしています。学級への連絡や課題の提出などに利用している学年もあります。

そして、6月末より、「ミライシード」というソフトが笠岡市の小中学校児童生徒の Chromebook に導入されました。その中には、自分で学習を進めていく「ドリルパーク」という学習ソフトがあります。自分の学習進度に合わせて進めていくことができ、朝学習や授業時間に取り組んでいます。家庭でも取り組むことができます。

実際にやってみました。書き順に気を付けながら漢字を練習したり、テスト形式で回答したりすることができます。また、算数の計算や文章問題も充実していて、学習の定着を図れるようになっていきます。それぞれの教科でベーシックドリル、パワーアップドリルがあり、ポイントをためながら段階的に学習を進めていくことができます。「学習探検ナビ」で社会や理科の動画を視聴しながら予習復習をしたり、下の学年の学習内容を振り返って取り組んだりすることもできます。教員は、児童一人一人の学習履歴を閲覧して、利用状況や学習の理解度を把握することができるため、授業づくりや支援に生かすことができるようになっていきます。

1年生は、9月2日（金）の参観授業で、ミライシードの利用方法を学習し、持ち帰りを始めました。Chromebook をただ持ち帰るだけではなく、家庭学習を充実させるために活用し、「学年×10分間」取り組んでほしいと思います。学習の定着と家庭学習習慣化を図ることに加え、非認知能力の「粘り強さ」、「自分をコントロールする力」、「主体性」、「挑戦する力」を育てることもつながっています。

笠岡湾干拓地の野菜栽培について ～株式会社 SARA の取組～



事前学習では、それぞれ調べたことをグループでまとめ、全体で発表して理解を深めました。そのことをさらに個人でまとめていました。

3年生の総合的な学習の時間は、笠岡湾干拓地について学習しています。1学期には道の駅ベイファームに行ってきました。そして9月14日（水）には、干拓でレタスやトマト、パプリカを生産している株式会社 SARA の方が来校してくださり、会社のこと、野菜の栽培、バイオマス発電、世界とのつながりについてなどたくさんのお話を教えていただきました。誰もやっていないことをすることが楽しく、おいしい野菜を届けてみんなが健康になって喜ばれることがうれしくて、やり甲斐や生き甲斐になっていることなど、子どもたちは熱心にメモを取っていました。1週間前には、SARA について HP 等を見て調べ、どんな質問をするかを考えていました。当日までに、SARA のパプリカを家の人に買ってもらって食べていた児童や、来校してくださる方の趣味まで調べていた児童もいました。さらに、その日の晩御飯がカレーライスという児童までいて、学校で聞いた話をしながら、いただいた野菜を家族で味わったことでしょう。関心を高くもって生き生きと学習する子どもたちの姿と、家庭の協力が素晴らしいです。今後は、干拓のバラとイチゴ栽培について学びを広げていく予定です。